

2020年～2021年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリーは機会の扉を開く



土浦ミュージアムコレクション No.1
岡部洞水「唐子図」(江戸時代後期)部分
蜻蛉釣り、独楽回し、竹馬などで無心に遊ぶ子供たちの姿が描かれています。洞水は土浦藩の絵師で幕府御用絵師狩野家に学びました。
(土浦市立博物館所蔵)

2020～21年度 国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク 氏

2020～2021年度(第63期 飯山年度)

7月第1例会プログラム

7月2日(第3021回)

VOL.1

- 点 鐘
- 国歌斉唱
- ロータリーソング
- ビジター紹介
- 会長・幹事就任挨拶
- 幹事報告・委員会報告
- 会 食
- 誕生祝・入会記念祝・結婚記念祝
- 「ロータリーの友」紹介
- にこにこBOX
- 出席報告
- 点 鐘
- クラブソング

会 長

奉仕の理想

親睦活動委員会

親睦活動委員会

公共イメージ委員会

S.A.A

出席委員会

会 長

ともに歩もう

RI(国際ロータリー)の創立:1905(明治38) 日本のロータリー創立:1920(大正9)

RI第2820地区 茨城県

RI(国際ロータリー)承認 日本国内247番
創 立 1958年2月14日(昭和33年)
承 認 1958年3月 7日(昭和33年)
事務局:土浦市中央2-16-9(常陽銀行4F)

土浦ロータリークラブ

姉妹クラブ RI第3520地区 台北陽明扶輪社
会長 飯山 孝之 幹事 關本 淳一

TEL 029-822-1250 FAX 029-824-8830

URL <http://www.tsuchiura-rc.org> E-mail office@tsuchiura-rc.org

例会場:L'AUBE Kasumigaura 毎週木曜日 12:30~13:30

2020-21年度 第63期 会長・幹事 就任挨拶

2020～2021年度 土浦ロータリークラブ 第63期 会長 飯山 孝之

この度土浦ロータリークラブ60数年の歴史と実績を有する、伝統ある63期会長を拝命いたしました飯山孝之です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今のこの時期に来て、その責任の重さを実感しているところであります。

会長就任にあたり、今までこの素晴らしいクラブを築きあげてきた先輩方々に感謝と敬意を表しますとともに、第63期会長として、このような素晴らしいクラブを更に発展させるよう努力してまいりますので、皆様の絶大なるご支援とご協力をいただきながら、この1年間副幹事とともに全力を尽くして活動してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

また、この度の新型コロナウイルス感染症が拡大し、日本はもとより世界中に拡大しており、この地域でも緊急事態宣言がなされ、当クラブも3月から5月にかけて例会を休会いたしました。

ロータリークラブ史上初めての経験であろうかと思いますが、6月に入り第2例会から再開しており安堵したところであります。私達第63期が無事に1年間活動できますよう、会員の皆様も健康には充分留意され、ロータリー活動に参加いただきたくお願いいたします。

さて、今年度のRI会長テーマは「ロータリーは機会の扉を開く」です。そして、RI2820地区池田ガバナーのスローガンは「ロータリアンのイノベーション～磨こう人間力！！～」が掲げられました。

土浦クラブ第63期スローガンは「慈・悲・喜・捨の心で奉仕と親睦を！」といたしました。これは釈迦の「四無量心」という初期経典の中からきている教えであります。

「慈」は人に楽しみを与えること。「悲」は人の苦しみを抜くこと。「喜」は楽しみが与えられ、苦が抜かれた人を見て喜ぶこと。「捨」は私がそのようなことをしてあげたと思う心を捨てることであります。

このような教えはロータリーの奉仕の精神と、仏教の教えは共通するものであり、63期スローガンといたしました。

このようなスローガンのもと、ロータリー活動を展開して行きたいと存じますのでよろしくお願い申し上げます。

「己れを忘れて他を利するは慈悲の極みなり」



2020～2021年度 土浦ロータリークラブ 第63期 幹事 關本 淳一

本年度、土浦ロータリークラブ幹事を拝命いたしました關本淳一です。飯山会長のもと、伝統と格式ある当クラブの名に恥じぬよう研鑽に努めてまいりますので、1年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

いま、人類は近年経験したことのない世界的な禍難に直面しています。誰もが苦しく、とすれば人と人との繋がりが希薄にもなりかねないこのような時期だからこそ、私たちロータリアンが力を合わせ、新たな奉仕の形を模索する「開くべき機会の扉」が現れるのかもしれませんが。飯山会長から、スローガンの骨子となる仏教用語「慈・悲・喜・捨」の意味を初めて教えていただいたとき、ロータリーの奉仕の精神と寸分違わぬ思想が、日本にも古くから根付いていたことに気付かされました。同時に、飯山会長のもと、このキーワードに込められた想いを具現化するお手伝いをさせていただきたいと思いました。

ご存じのとおり、飯山丸の船出は快晴の風の海からという訳にはいかず、五里霧中・大時化の中での出航となります。しかしながら、この船には経験豊富なたくさんの先輩方、強い絆で結ばれた仲間たちが乗り込んでくれています。皆さまのご指導を賜りながら、ご協力を仰ぎながら、1年間の航海を無事に成就させ、大漁旗を掲げて再び帰港するため、粛々と幹事職に邁進していく所存です。

不案内・不慣れなことも多く、ご迷惑をお掛けすることも多々あると存じますが、ロータリアンの友情と寛容の精神にてご容赦いただき、ご指導ご鞭撻を賜れば深甚です。何卒よろしくお願い申し上げます。



会長より次年度会長へ禱を伝達

鈴木 敏之 職業奉仕委員長



事業計画に対する実績

1. 2020年2月27日に職業奉仕の理念、秘湯の会一職場訪問の報告に関する卓話を行った。
2. 2019年10月20日に行われた土浦市健康まつりで、会員5名の協力により医療・介護相談を行った。
3. 2020年2月8-9日に会員13名が参加し、群馬県薬師温泉に宿泊、埼玉県北本市グリコピア工場見学を行った。

委員長総括

年初の事業は計画通り実行できた。今後の課題として、優良従業員の表彰制度、学校での職業卓話など新たな事業を検討したい。

白田 恭士 青少年奉仕委員長



事業計画に対する実績

本年度の土浦ローターアクトクラブはなかなか活動することが出来ず、例会の開催もままならない状況でした。その原因としてメンバーの転職やモチベーションの低下が挙げられます。その中でローターアクトとロータリアンが協働して行う事業であったかすみがうらマラソンのウォーキングもコロナウイルスの影響で中止となり、事業を行うことができませんでした。またRYLA等の地区行事につきましても参加者が集まらず、他クラブとの交流も行うことが出来ませんでした。

土浦市立図書館への本の通帳寄贈につきましては、予定よりも多い補助金を地区よりいただき、5月19日に土浦市へ5,000冊寄贈いたしました。奉仕活動としてアルカス土浦周辺の清掃活動を予定しておりましたが、こちらもコロナウイルスのため事業を行うことが出来ませんでした。

委員長総括

地区補助金を使用しての本の通帳寄贈を今年度の青少年奉仕委員会の事業計画とすることになり、予定者の段階から補助金のセミナー等を受講してきました。申請の結果、希望額よりも多い補助金をいただき、事業を無事に終えることが出来ました。本の通帳は小学生が図書館を利用するきっかけとなるツールになっており、読書離れが少しでも改善できると考えております。また裏面に土浦ロータリーのロゴマークを入れたことにより、土浦ロータリーの認知度、公共イメージの向上に繋がると考えております。

ローターアクトにつきましては、現在活動をほとんどしていない状況であります。30歳までというローターアクトの年齢制限が撤廃されたため、メンバーの卒業はありませんが、今後どのようにしてローターアクトの活動を支援していくか、ロータリークラブ全体で考えていかなければならない状況にあると考えます。

平島 隆之 国際奉仕委員長



事業計画に対する実績

姉妹クラブ再締結調印式の開催の目途が立たない状況が続いている。コロナ禍によって台湾への出入国が制限されており訪台できず、次年度以降に順延せざるを得ない状況です。

また、台北陽明RCが企画主体となったグローバル補助金申請対象プロジェクトのRIでの承認が下りず計画そのものを中止。このためプロジェクトのパートナーとしての国際的奉仕活動の実施が叶わなくなった。

委員長総括

今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的大流行(パンデミック)の影響で当初計画していた訪台ができなかった。

特に今年度は例年の陽明クラブの周年式典参加に加えて、姉妹クラブ調印式に出席するために大訪台団を組織して渡航準備万端というタイミングで訪台断念だったので残念でした。

坂本 史郎 ロータリー財団委員長



事業計画に対する実績

ロータリー財団月間11月14日に土浦南RC高橋信子地区委員に卓話をお願いし、会員に財団の内容を理解していただきました。

財団寄附目標額 年次寄附130ドル、ポリオ寄附20ドル、会員1人当たり150ドルおよびベネファクター1,000ドルクラブ1名以上の達成
実績は年次寄附 43名 8,590ドル
クラブ 1,000ドル
ポリオ寄附 1,180ドル
恒久基金 1,000ドル ベネファクター竹内会長
寄附総額は11,770ドルでした。
皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

山本 和男 米山記念奨学委員長



事業計画に対する実績

10月の米山月間に、米山奨学生エーエーティンさんに卓話をして頂き、米山事業の理解を深めた。

寄付金の状況

R1年1月1日～R2年1月21日

普通寄付(上期)	2,500円×58名	145,000円
普通寄付(下期)	2,500円×59名	147,500円
特別寄付		1,910,000円
・個人寄付		1,440,000円
・法人寄付		170,000円
・クラブ寄付		300,000円
合 計		2,202,500円

委員長総括

寄付金の目標を達成出来ず大変心苦しい限りです。今年度は新型コロナウイルスのため例会が3ヶ月開催されず、全会員へのお願いが行き届かなかった。

鈴木 亮 SAA委員委員長

事業計画に対する実績

本年度SAAは【土浦RCの伝統と格式を維持・向上できるよう、和やかな中にも厳かで緊張感の持続する例会運営を推進する】という計画を柱に据えて、5つの事業計画を立てました。主に例会の進行ですが、プログラムが多様な事もあり苦勞した部分もありましたが、会長、幹事、各委員会と連携をとり、時間を厳守して例会運営を行う事が出来ました。又、新型コロナウイルスによる3か月間に及ぶ休会の影響でニコニコボックスのみ250万という目標額にこそ、達しませんでした。200万を超える多額の寄付を頂きました。これも一重に会員の皆様一人一人の御協力のおかげだと思っております。この事に重ねてお礼申し上げます。事業報告とさせていただきます。

委員長総括

会員の皆様のご協力を賜り土浦RCの伝統と格式を重んじた例会運営を行う事が出来ました。新型コロナウイルスの影響で3月から6月1週迄が休会になりましたが、今後は新しい生活様式での例会の開催方法等、土浦RCとしての活動形態、在り方を考えさせられる年度となりました。



土浦市医師会に寄付金を贈呈

土浦市医師会に、PCR 検査施設設立の為の寄付金を贈呈しました。新型コロナウイルスの1日も早い収束と土浦市民の皆様のご健康をお祈り致します。



河合社会奉仕委員長、竹内会長、小原土浦市医師会長

メイクアップ

- 6/25 土浦市医師会へPCR検査に伴う寄付金贈呈
河合、竹内
- 6/27 2020年度米山記念奨学会オリエンテーション
廣瀬（正）

出席報告

会員	欠席	出席	免除・欠席	出席率
59名	23名	36名	3名	64.28%

例会予告

- 7月 9日 事業方針発表 理事・役員・委員長
- 16日 事業方針発表 理事・役員・委員長

にここBOX

6/25 計84,000円 累計2,182,000円

第63期第1期の会費の集金をいたします。

銀行口座振替の方は7月9日引落としとなりますので、口座残高の確認をお願いします。